

6 そなえる教室

場所：マンション共用施設（二箇所）

時間：60分（AM 10:15～11:15）

長引く被災生活では「情報」が大事になります。被災地の声を知り、そして奏の杜で情報をどうやって入手・共有・発信するかを、一緒に学び・考えます！



災害時はどこで
情報を入手する？

入手した情報を
どうやって共有する？

情報を集約して
外に発信するには？

奏の杜のどこに情報が
集まってくる？



SONAERU KARUTA 41 情報

待っていても情報は入ってきません。

- 物資の配給や各種手続など行政機関が発信する情報は、役所や大規模避難所、配給場所等の掲示板しかり出されません。
- しばらくすると行政や自衛隊や警察、NPO等からさまざまな情報を得ることができます。

被災者の声

インターネットは繋がらず、携帯電話も一部の機能が使えずに繋がらない。スマホやワンセグTVからの情報のみ、各地の状況は知る事が出来ず、自分たちの住んでいる地域の状況が全く分からなかった。

どの班が使うの？
被災者が2か月たつて初めて入居し、避難所に行けば食料の配給を受けられるようになった。

情報班

いつ使うの？
避難所の情報が不足で困っていたら、マンションの管理入居人が避難所を訪問し提供してくれる情報を集めてくれた。被災地に人とのつながりが築きやすくなった。

被災生活期
Q必要な情報を収集する具体策はありますか？

SONAERU KARUTA 42 情報

街を歩いて情報を収集。さらに皆で共有しよう。

- 街を歩いて情報を入手し、外に出たもの同士で話をまとめ、掲示板などで情報を共有しよう。
- 役所や大規模避難所、配給場所等の情報が集まりやすい場所を予め把握しておきましょう。
- 自分の住む町の個人商店をフィールドワークで地図に書き込んでおくのも良いでしょう。

被災者の声

避難所が1週間も続かずに閉鎖された。自分たちの住む町に物資が届かなくなり、困っていた。

どの班が使うの？
情報班

いつ使うの？
被災生活期

SONAERU KARUTA 43 情報

支援者と被支援者のミスマッチもあります。

- 被害状況がつかり合っていない、欲しいものが届かないなど、被災地では情報のミスマッチがたびたび起こります。
- 支援を受けるためには正確に情報発信することが重要です。
- 大規模災害では近隣地域も同様に大きな被害を受けていることが想定されます。他県など他の地域とのつながりも重要です。
- 親戚や友人知人などにも今求めていることを積極的に発信しましょう。

被災者の声

インターネットが繋がらず情報がなかなかたつて来ず、困っていた。自分たちの状況を発信して、助けを求めようと思った。

どの班が使うの？
情報班

いつ使うの？
被災生活期

被災生活期
Qどのように情報発信するか、具体策はありますか？

7

自分を守る・みんなを守る体験会

場所：谷津奏の杜公園

時間：45分（AM 10:15～11:00）

災害が起きた際に、平日自宅に居る人・居ない人では対応が大きく異なります。平日に災害が起きたことを想定して、「自宅にいる人」「自宅にいない人」それぞれどんなことが出来るかを考え実際に体験します！自分を守る・みんなを守る訓練です！

■ 訓練内容

- ・ 家族の安否確認方法
- ・ 布担架
- ・ 水を運ぶ

布担架を使って
ケガ人を運ぶ体験



20ℓのウォータータンクは
けっこう重い・・・
どうやって自宅まで運ぶのか？
を実際に体験して考えます

